

令和6年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

## I. 令和6年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、設立時の基本理念を念頭に、美術・歴史の文化振興に努め、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに豊かな生活と活力ある地域の文化形成に寄与することを使命として、多くの方に喜んでいただけるよう令和6年度についても積極的に事業を実施してまいります。

公1(美術館・ギャラリーの運営事業)については、「たましん美術館」(立川市)をメインの館として企画展を4会期開催予定です。第1会期の「めぐる、であう コレクションのなりたち」は、多摩信用金庫のこれまでの文化活動によって築かれたコレクションの成り立ちを、会場を歩きながら鑑賞者に感じていただく内容となっております。第2会期の浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」は、歌川広重「名所江戸百景」とともに多摩地域の風景を写した浮世絵を展示し、江戸の風俗・文化を紹介します。第3会期の「没後20年 佐藤多持展」では、日本画家・佐藤多持の没後20年を記念して、コレクションによる企画展を行います。第4会期「共催展『源氏物語の新世界』」は、国文学研究資料館が所蔵する『源氏物語』関連資料(写本、画帖、絵巻など)を展示し、また、現役作家と同館研究者がワークショップを重ねて創作した『源氏物語』を題材とした作品も展示します。「たましん歴史・美術館」(国立市)では、たましんコレクションを中心に、テーマをしぼった作品を選定し、展示します。また、展覧会期間中に、トークイベント、ワークショップ、講演会を実施し、作家、作品の魅力を深めていきます。併せて、たましん美術館周辺施設、学校との連携を図り、広く美術の愉しさを知っていただくためのイベントを開催します。

公2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)は、例年通りの事業が中心ですが、令和7年度の『多摩のあゆみ』創刊50周年に向けて、デジタルアーカイブの拡充を検討していきます。また、昨年度より歴史資料室年報を作成し、ホームページに公開しておりますが、新たに、諸活動や所蔵資料に関する広報宣伝活動を目的として、年報の小冊子版を多摩地域の図書館、博物館、関係機関へ配布します。例年実施している多摩の歴史講座においては、今年度においても講座に参加できなかった方のために、講座内容を編集して、オンライン配信をしていきます。また、地域の市史編さん等への協力を通じての各施設との連携、各図書館との資料検索システムの横断的検索を目指すことにより、地域とのネットワークの強化を図っていきます。

## II. 公益目的事業の事業計画概要

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

# 1. 美術(公1)

## (1) 企画展覧会

### ① たましん美術館

たましん美術館は、今年度4会期の企画美術展を開催します。

#### 1) 「めぐる、であう コレクションのなりたち」

令和6年4月13日～7月7日(70日間)

たましんコレクションの3本柱である「近代絵画」「多摩の作家」「東洋古陶磁」の主要な作品を紹介する展覧会です。これまでの文化活動によって築かれたコレクションの成り立ちを、会場を歩きながら鑑賞者に感じてもらう内容です。

#### 2) 浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」

令和6年7月20日～9月16日(51日間)

歌川広重「名所江戸百景」とともに多摩地域の風景を写した浮世絵を展示し、江戸の風俗・文化を紹介します。夏休みの学習教育の一貫として大人も子どもも楽しめる内容とします。

#### 3) 「没後20年 佐藤多持展」

令和6年9月28日～12月22日(70日間)

日本画家・佐藤多持の没後20年を記念して、コレクションによる企画展を行います。《戦時下の絵日誌》から代表作《水芭蕉曼陀羅》まで近年の収集作品・資料を交え作家の生涯の芸術活動を紹介します。

#### 4) 「共催展『源氏物語の新世界』」

令和7年1月11日～3月16日(56日間)

国文学研究資料館との共催展示として、同館が所蔵する『源氏物語』関連資料(写本、画帖、絵巻など)を展示します。また現役作家(地域貢献スペース利用作家)が、国文研の研究者とのワークショップを重ねて創作した『源氏物語』を題材とした作品をあわせて展示します。

### ② たましん歴史・美術館

多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の収蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、3会期展示します。

1) たましんコレクション展1 令和6年4月6日～令和6年7月14日

2) たましんコレクション展2 令和6年7月27日～令和6年11月10日

3) たましんコレクション展3 令和6年11月30日～令和7年3月16日

### ③ たましん本店2階「地域貢献スペース」ギャラリーの運営

たましん本店2階ギャラリーの企画選定員会の実施、展示計画、作家選定、展示作業の監督を行います。

## (2) 調査・研究・収集・保存

### ① 美術館年報の発行

令和 4・5 年度の美術館活動(たましん美術館、たましん歴史・美術館、地域貢献スペース)の記録をまとめ刊行します。

### ② たましんギャラリー記録集(PDF 版)の公開

45 年間にわたり多摩の作家の貴重な発表の場となった「たましんギャラリー(令和元年閉廊)」の活動の記録を PDF でデータ公開します。

### ③ 収蔵庫の環境改善

経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行い、専門業者による除塵防黴施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行っていきます。

### ④ 所蔵品の修復および額・保存箱新装

経年劣化のある作品の修復および額装・マット装・保存箱の新装を進めます。

### ⑤ 資料・図書収集

多摩地域の作家の資料、地域の美術に関する図書等を引き続き収集します。

### ⑥ 作品の調査・研究

収蔵する作品・作家に関して調査・研究を進めます。

### ⑦ 美術館運営

展示室蛍光灯、展示用貼りパネルなど美術館運営に必要な資材を計画的に準備していきます。

## (3) 美術講座・美術教育

### ① たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク

展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行います。

### ② トークイベント、体験型イベント

#### 1) 「没後 20 年佐藤多持展」ワークショップ・講演会

「没後 20 年佐藤多持展」会期中に、一般向け参加型ワークショップおよび講演会を行います。

#### 2) 「国文学研究資料館共催展」ワークショップ・講演会

「国文学研究資料館共催展」会期中に、参加アーティストによる一般向け参加型ワークショップおよび講演会を行います。

### ③ 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全 3 回の講演を予定しております。

講師 齋藤陽一氏  
(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー)  
タイトル 「蔦重と3人の浮世絵師」  
会場 くにたち市民芸術小ホール  
募集人員 毎回 60 名(延べ 180 名) 受講料 無料

#### ④ 博物館実習

大学において学芸員養成課程を履修中の学生を対象とした、5 日間程度の博物館実習(講義・実務)を行います。

### (4) 連携

#### ① 地域の学校との連携

多摩地域の中学校の職場体験を受け入れるなどして地域の学校との連携を図り、小中学校の美術館見学も積極的に行っていきます。

#### ② たましん美術館周辺地区との連携

たましん美術館の周辺地区の施設(グリーンスプリングス、立川市)との交流を図り、様々な連携企画を行っていきます。

### (5) 広報・普及活動

#### ① 広報活動の実施と広報活動手段の拡充

当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的行います。また、SNS や WEB 上でのプレスリリース配信など新たな広報手段を活用していきます。また、夏の教育普及展にあわせ多摩地域の小中学校への広報物配布を行います。

#### ② 展覧会スケジュールの発行

次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行します。

## 2. 歴史(公2)

### (1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記の通り、各号ごとに特集テーマを予定しています。

194 号 「多摩川流域の馬事と競馬場」(仮題)	令和 6 年 5 月 31 日発行
195 号 「歴史地理の調べ案内」(仮題)	令和 6 年 8 月 31 日発行
196 号 「古代多摩の謎に迫る」(仮題)	令和 6 年 11 月 30 日発行
197 号 「近世豪農の文化と交流」(仮題)	令和 7 年 2 月 28 日発行

## (2) 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新书推荐コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。資料については、当財団のホームページでも検索ができます。

また、伊与田昌男コレクションの利用・公開に向けて、写真資料の保存環境構築及び調査研究を継続して実施していきます。歴史資料室の活動状況については、年報を作成し、当財団のホームページにて公開し、冊子版については、多摩地域の図書館を中心に博物館・関係機関に配布します。

## (3) 多摩の歴史講座

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。(テーマ「多摩の別荘文化」予定)会場は多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、100名を募集します。受講料は無料です。

また、上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。ホームページ、SNSで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。

## (4) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館、東京都公文書館(ともに国分寺市)等との連携を更に深め、また市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化していきます。

また、NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。

## (5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は計25回となりました。コロナ禍で一時的に中断していた武蔵野支店地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。

また、『多摩のあゆみ』第193～196号に掲載の「多摩の金融史」連載をホームページで公開します。なお、ホームページ公開の本連載は「TAMA MIRAI SQUARE」(旧本店)1階のエントランス展示にQRコードを掲示しています。

## (6) 広報・普及活動

### ① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページ、SNSにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。

## ② 歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。また、令和7年度の『多摩のあゆみ』創刊50周年に向けて、デジタルアーカイブの拡充を検討していきます。

## Ⅲ. 収益事業

### 1. 物品販売事業（収1）

#### (1) 物品販売事業

たましん美術館に併設のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、会期に合わせた関連商品、財団発行の書籍を販売します。また、地域の作家の陶器、染物や地域企業のグッズ、各種雑貨等の委託販売を行います。

## Ⅳ. 管理

### 1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第9号)

#### (1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 令和2年6月22日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 令和4年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)
- ③ 監事 令和4年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)

#### (2) 理事会等の開催

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 6,386 千円)

(1) 企画展覧会

① たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	めぐる、であう コレクションのなりたち	自主	2024年4月13日(土)～7 月7日(日)	70	たましんコレクションの3本柱である「近代絵画」「多摩の作家」「東洋古陶磁」の 主要な作品を紹介する。これまでの文化活動によって築かれたコレクションの成 り立ちを、会場を歩きながら鑑賞者に感じてもらう内容とする。	1,160
2	浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」	自主	2024年7月20日(土)～9 月16日(月・祝)	51	歌川広重「名所江戸百景」とともに多摩地域の風景を写した浮世絵を展示し、江 戸の風俗・文化を紹介する。夏休みの学習教育の一貫として大人も子どもも楽し める内容とする。	277
3	没後20年 佐藤多持展	自主	2024年9月28日(土)～ 12月22日(日)	70	日本画家・佐藤多持の没後20年を記念して、コレクションによる企画展を行う。 《戦時下の絵日誌》から代表作《水芭蕉曼陀羅》まで、近年の収集作品・資料を 交え作家の生涯の芸術活動を紹介する。	1,282
4	国文研共催展「源氏物語の新世界」	共催	2025年1月11日(土)～ 3月16日(日)(予定)	56	国文学研究資料館との共催展示として、同館が所蔵する『源氏物語』関連資料 (写本、画帖、絵巻など)を展示する。また現役作家(地域貢献スペース利用作 家)が、国文研の研究者とのワークショップを重ねて創作した『源氏物語』を題材 とした作品をあわせて展示する。	688



②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	たましんコレクション展1	自主	2024年4月6日(土) ～7月14日(日)	86	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、展示する。	185
2	たましんコレクション展2	自主	2024年7月27日(土) ～11月10日(日)	108		185
3	たましんコレクション展3	自主	2024年11月30日(土)～ 2025年3月16日(日)	85		185

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	たましん本店2階地域貢献スペース運営	自主	通年	たましん本店2階地域貢献スペースの展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督を財団学芸員が行う。企画選定委員会の実施も含む。	230

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画		事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名			
1	たましん美術館年報の発行		令和4・5年度の美術館活動(たましん美術館、たましん歴史・美術館、地域貢献スペース)の記録をまとめ刊行する。	420
2	たましんギャラリー記録集(PDF版)の公開		45年間にわたり多摩の作家の貴重な発表の場となった「たましんギャラリー(令和元年閉廊)」の活動の記録をPDFでデータ公開する。	0
3	収蔵庫の環境改善		経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行う。専門業者による除塵防霉施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行う。	424
4	所蔵品の修復および額・保存箱新装		経年劣化のある作品の修復および額装・マット装・保存箱の新装を進める。	590
5	資料・図書の収集		多摩地域の作家の資料、地域の美術に関する図書等を引続き収集する。	30
6	作品の調査・研究		収蔵する作品・作家に関して調査・研究を進める。	250
7	美術館運営		展示室蛍光灯、展示用貼りパネルなど美術館運営に必要な資材を計画的に準備する。	250

(3)美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	たましん美術館での各展覧会におけるギャラ リートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを 行う。	0

②トークイベント、体験型イベント

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	没後20年佐藤多持展 ワークショップ・講演会	共催	日時未定	「没後20年佐藤多持展」会期中に、一般向け参加型ワークショップおよび講演会 を行う。	60
2	国文研共催展ワークショップ・講演会	共催	日時未定	「国文研共催展」会期中に、参加アーティストによる一般向け参加型ワークショッ プおよび講演会を行う。	0

③美術講演会

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	美術講演会	共催	日時未定	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催 事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうこ とを目的として全3回の講演を予定。 テーマ 「蔦重と3人の浮世絵師」 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館プロデュー サー) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人数 毎回60名(延べ180名) 受講料 無料	100

④博物館実習

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	博物館実習受け入れ	自主	日時未定	大学において学芸員養成課程を履修中の学生を対象とした、5日間程度の博物 館実習(講義・実務)を行う。	0

## (4)連携

## ① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域の学校との連携	自主	通年	多摩地域の中学校の職場体験を受け入れるなどして地域の学校との連携を図り、小中学校の美術館見学も積極的に行っていく。	0

## ② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	たましん美術館の周辺地区の施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていく。	0
2	立川市との連携				

## (5)広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団及び美術館ホームページへの展覧会情報公開を継続して行う。ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行う。SNSやWEB上でのプレスリリース配信など新たな広報手段を活用していく。また、夏の教育普及展にあわせ多摩地域の小中学校への広報物配布を行います。	0
2	展覧会スケジュールの発行	自主	通年	次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行する。	70

2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 13,129 千円)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	194号「多摩川流域の馬事と競馬場」(仮題)	自主	5月	多摩川流域の競馬(くらべうま・けいば)文化について紹介します。多摩地域には、宮廷儀礼である古式競馬とも結びつく馬に関連する遺跡・遺物、近代競馬の発展とともに建設された中央・地方の競馬場が位置しています。そこで、多摩川流域の馬事文化と競馬場について取り上げます。	2,553
2	195号「歴史地理の調べ方案内」(仮題)	自主	8月	都立高校社会科の先生方で作る「地理教材共有化の会」の皆さんに、デジタルアーカイブやグーグルアース、地理院地図等を用いた「多摩の歴史・地理の調べ方の現在」を、高校生をはじめ多摩の歴史・地理に初めてふれる方を対象にご紹介いただきます。	2,553
3	196号「古代多摩の謎に迫るー交通・地方豪族・異文化交流ー」(仮題)	自主	11月	令和5年度(第26回)「多摩の歴史講座 多摩の古代文化」を特集として再編成します。近年の多摩地域では、国府・国分寺の周辺部から古代交通の要所である悲田処、地方豪族の大型居館や武蔵国に移住・定住した蝦夷や渡来人の痕跡が発見されています。古代多摩の交通・地方豪族・異文化交流などの謎に迫ります。	2,553
4	197号「近世豪農の文化と交流」(仮題)	自主	令和7年2月	江戸時代の多摩地域の名主クラスの豪農たちは、村政の仕事と表裏一体で、俳諧・狂歌・和歌・漢詩・書画・茶道・華道などの文化活動をし、交流していました。国立市谷保の本田家や多摩市連光寺の相沢家・富澤家など多摩各地の調査成果を踏まえ、豪農の文化と相互の交流について紹介します。	2,553

(2)歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の到着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	470
2	伊与田昌男コレクションの再整理・調査 (保存環境構築および調査研究)	自主	通年	伊与田昌男コレクションは1992年の寄贈以来、写真原板や紙焼き写真、アルバム等の現物整理(28,000点以上)および目録化・デジタルデータ化を進めてきました。しかしながら、写真資料に適した保存環境の整備やネガ・ポジの保存処理は不十分であり、伊与田昌男本人および伊与田作品に関する調査研究も十分に進んでいません。当コレクションの利用・公開に向けて、写真資料の保存環境構築および伊与田昌男に関する調査研究を継続します。	265
3	歴史資料室年報の作成	自主	通年	歴史資料室の主たる事業である『多摩のあゆみ』の刊行、「多摩の歴史講座」の開催、当室の調査・収集、整理・保存、利用・公開、室員の活動報告や各活動における調査・研究成果を発表していきます。なお、制作経費削減のため、年報は職員による編集、当財団ホームページにてオンラインジャーナルとして公開します。新たに、当室の諸活動や所蔵資料に関する広報宣伝活動を目的として、本年報の冊子版を多摩地域の図書館を中心に博物館・関係機関へ配布します。	150

## (3) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施します。(テーマは「近郊別荘と多摩」を予定しています) 会場：多摩信用金庫府中支店 会議室(予定) 定員：75～100名(予定) 受講料：無料	235
2	多摩の歴史講座ONLINEの配信	共催	3月(予定)	上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。『多摩のあゆみ』、ホームページ、SNSで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。	27

## (4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、各市町村とのネットワークを強化していきます。	0
2	資料検索システムの横断検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。	0

## (5) 多摩金融史関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、25回目まで掲載してきました。コロナ禍で中断していた武蔵野支店の地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。	130
2	「多摩の金融史」関係資料の活用	自主	通年	『多摩のあゆみ』第193～196号に掲載の「多摩の金融史」連載をホームページで公開します。なお、ホームページ公開の本連載は「TAMA MIRAI SQUARE」(旧本店)1階のエントランス展示にQRコードを掲示しています。	10

## (6) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページ、SNSにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。	502
2	歴史資料室所蔵資料の デジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。また令和7年度の『多摩のあゆみ』創刊50周年に向けて、デジタルアーカイブの拡充を検討していきます。	1,128

収益事業

3. 物品販売事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 280千円)

(1) 物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	物品販売事業	自主	通年	たましん美術館のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。たましん美術館の会期に合わせた関連商品の製作販売を検討します。	<u>280</u>

令和6年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和6年度収支予算書(正味財産増減ベース)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	令和6年度 予算額(イ)	令和6年度 実績額	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	令和5年度 予算額(ロ)	増減 (イ)-(ロ)
			公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0	
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0	
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	△ 10,000	
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	△ 10,000	
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業収益	3,210,000	2,750,000	60,000	0	2,810,000	400,000	400,000	0	2,840,000	370,000	
入館料収益	2,550,000	2,550,000			2,550,000			0	2,200,000	350,000	
図録販売収益	200,000	200,000			200,000			0	200,000	0	
出版事業収益	60,000	0	60,000		60,000			0	40,000	20,000	
物品販売収益	400,000	0			0	400,000	400,000		400,000	0	
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	△ 300,000	
受取寄付金	84,880,000	18,500,000	0	60,000,000	78,500,000	350,000	350,000	6,030,000	78,880,000	6,000,000	
受取寄付金	84,880,000	18,500,000		60,000,000	78,500,000	350,000	350,000	6,030,000	78,880,000	6,000,000	
雑収益	1,910,000	1,530,000	350,000	0	1,880,000	0	0	30,000	1,950,000	△ 40,000	
雑収益	1,910,000	1,530,000	350,000	0	1,880,000	0	0	30,000	1,950,000	△ 40,000	
<b>経常収益計(A)</b>	<b>94,600,000</b>	<b>22,780,000</b>	<b>410,000</b>	<b>64,600,000</b>	<b>87,790,000</b>	<b>750,000</b>	<b>750,000</b>	<b>6,060,000</b>	<b>88,580,000</b>	<b>6,020,000</b>	
(2) 経常費用											
事業費/管理費(法人会計)	95,110,000	54,300,000	33,900,000	0	88,200,000	740,000	740,000	6,170,000	94,590,000	520,000	
売上原価	110,000	70,000	30,000	0	100,000	10,000	10,000	0	110,000	0	
役員報酬	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000	0	
給料手当	22,780,000	11,880,000	10,900,000	0	22,780,000	0	0	0	24,510,000	△ 1,730,000	
臨時雇賃金	9,960,000	5,130,000	3,640,000	0	8,770,000	0	0	1,190,000	8,650,000	1,310,000	
賞与引当金繰入	1,470,000	570,000	900,000	0	1,470,000	0	0	0	1,880,000	△ 410,000	
退職給付費用	730,000	280,000	450,000	0	730,000	0	0	0	870,000	△ 140,000	
法定福利費	4,920,000	2,130,000	2,560,000	0	4,690,000	0	0	230,000	5,270,000	△ 350,000	
福利厚生費	210,000	80,000	70,000	0	150,000	0	0	60,000	200,000	10,000	
旅費交通費	1,530,000	870,000	560,000	0	1,430,000	0	0	100,000	1,500,000	30,000	
通信運搬費	2,920,000	1,050,000	1,460,000	0	2,510,000	10,000	10,000	400,000	2,750,000	170,000	
減価償却費	150,000	50,000	80,000	0	130,000	0	0	20,000	150,000	0	
支払手数料	250,000	70,000	50,000		120,000	70,000	70,000	60,000	130,000	120,000	
消耗什器備品費	200,000	80,000	0	0	80,000	120,000	120,000	0	0	200,000	
消耗品費	2,260,000	1,640,000	380,000	0	2,020,000	30,000	30,000	210,000	1,780,000	480,000	
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
印刷製本費	9,850,000	1,670,000	8,120,000	0	9,790,000	60,000	60,000	0	10,410,000	△ 560,000	
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
光熱水料費	1,000,000	720,000	210,000	0	930,000	0	0	70,000	1,000,000	0	
賃借料	21,970,000	20,650,000	510,000	0	21,160,000	200,000	200,000	610,000	21,380,000	590,000	
保険料	780,000	700,000	10,000	0	710,000	0	0	70,000	820,000	△ 40,000	
諸謝金	1,090,000	90,000	1,000,000	0	1,090,000	0	0	0	1,150,000	△ 60,000	
保守管理費	3,000,000	2,680,000	210,000	0	2,890,000	20,000	20,000	90,000	3,000,000	0	
会議費	570,000	0	150,000	0	150,000	0	0	420,000	370,000	200,000	
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0	
図書費	340,000	40,000	300,000	0	340,000	0	0	0	310,000	30,000	
委託費	7,480,000	3,480,000	2,240,000	0	5,720,000	0	0	1,760,000	6,710,000	770,000	
研修費	50,000	0	0	0	0	0	0	50,000	100,000	△ 50,000	
宣伝費	40,000	40,000	0	0	40,000	0	0	0	100,000	△ 60,000	
仕入費	220,000	0	0	0	0	220,000	220,000	0	220,000	0	
諸会費	520,000	230,000	70,000	0	300,000	0	0	220,000	510,000	10,000	
交際費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0	
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<b>経常費用計(B)</b>	<b>95,110,000</b>	<b>54,300,000</b>	<b>33,900,000</b>	<b>0</b>	<b>88,200,000</b>	<b>740,000</b>	<b>740,000</b>	<b>6,170,000</b>	<b>94,590,000</b>	<b>520,000</b>	
<b>当期経常増減の部(A)-(B)</b>	<b>△ 510,000</b>	<b>△ 31,520,000</b>	<b>△ 33,490,000</b>	<b>64,600,000</b>	<b>△ 410,000</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>	<b>△ 110,000</b>	<b>△ 6,010,000</b>	<b>5,500,000</b>	
2. 経常外増減の部	0									0	
(1) 経常外収益	0									0	
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0									0	
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減の部(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 510,000</b>	<b>△ 31,520,000</b>	<b>△ 33,490,000</b>	<b>64,600,000</b>	<b>△ 410,000</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>	<b>△ 110,000</b>	<b>△ 6,010,000</b>	<b>5,500,000</b>	
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>31,082,788</b>	<b>△ 368,257,393</b>	<b>△ 354,699,040</b>	<b>751,496,464</b>	<b>28,540,031</b>	<b>388,709</b>	<b>388,709</b>	<b>2,154,048</b>	<b>37,092,788</b>	<b>△ 6,010,000</b>	
<b>一般正味財産期末残高(E)</b>	<b>30,572,788</b>	<b>△ 399,777,393</b>	<b>△ 388,189,040</b>	<b>816,096,464</b>	<b>28,130,031</b>	<b>398,709</b>	<b>398,709</b>	<b>2,044,048</b>	<b>31,082,788</b>	<b>△ 510,000</b>	
II 指定正味財産増減の部											
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	833,677,365	530,586,750	0	302,559,000	833,145,750	531,615	531,615	0	833,677,365	0	
指定正味財産期末残高(F)	833,677,365	530,586,750	0	302,559,000	833,145,750	531,615	531,615	0	833,677,365	0	
<b>III 正味財産期末残高(E)+(F)</b>	<b>864,250,153</b>	<b>130,809,357</b>	<b>△ 388,189,040</b>	<b>1,118,655,464</b>	<b>861,275,781</b>	<b>930,324</b>	<b>930,324</b>	<b>2,044,048</b>	<b>864,760,153</b>	<b>△ 510,000</b>	